

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2021年 6月 29日

事業所名：ゴットオフラيف碧南校

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|----------|---|---|----|-----------|-----|---------------------------------------|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ● | | | 壁及びカーテンで間切りをしている |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | ● | | | 法令を遵守した配置を行っている。 |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | | | ● | バリアフリー化できていない |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | ● | | | 定期的に会議を行い振り返ることで、適切な目標を設定することが出来ています。 |
| | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ● | | | 行っている。 |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ● | | | 行っている。 |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | | ● | 行えていない |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ● | | | オンラインの研修を活用している（海外のもの） |
| 適切な支援の提供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ● | | | 通訳を通じて、児童発達管理責任者が行えるようにしている |
| | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | ● | | | 通訳を通じて、児童発達管理責任者が行えるようにしている |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ● | | | 月2回の定例会議にて、お互いがアイデアを出している |
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ● | | | 月2回の定例会議にて、お互いがアイデアを出している |
| | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | ● | | | 月2回の定例会議にて、お互いがアイデアを出している |
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | ● | | | 通訳を通じて、児童発達管理責任者が行えるようにしている |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ● | | | 開所時にミーティングを実施 |
| | ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ● | | | 支援終了後に実施 |

| | | | | | | |
|--------------|---|--|---|--|---|--|
| | ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ● | | | 支援終了後に実施 |
| | ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ● | | | 原則、児童発達支援管理責任者とスタッフリーダーが連携して支援を行う。 |
| | ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか | ● | | | 行っている。 |
| 関係機関や保護者との連携 | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか | ● | | | 原則、児童発達支援管理責任者が参加している。 |
| | ㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | ● | | | 通訳を通じて、児童発達支援管理責任者と指導員が協力して行えるようにしている。 |
| | ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | ● | | | |
| | ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | ● | | | |
| | ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | ● | | | 原則、児童発達支援管理責任者が電話や訪問で連携を行う。 |
| | ㉕ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ● | | | 定期的に電話にて助言を受けている。 |
| | ㉖ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | | ● | |
| | ㉗ | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか | ● | | | 児童発達支援管理責任者が会議への参加を行っている。 |
| | ㉘ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ● | | | ご自宅への送迎時や、保護者面談を通じて行っている。 |
| 保護者への説明責任等 | ㉙ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | ● | | | 土曜日に随時実施している。 |
| | ㊱ | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ● | | | 保護者様との利用契約締結時に実施している。 |
| | ㊲ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ● | | | 初利用日当日までに必ず説明および同意をいただいている。 |
| | ㊳ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | ● | | | 原則、土曜日に開催している。 |

| | | | | | | |
|---------|----|---|---|---|---|--------------------------------|
| | ③③ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ● | | | 随時、対応を行っている |
| | ③④ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | | ● | | 日々の連絡帳にて記載を行っている |
| | ③⑤ | 個人情報に十分注意しているか | ● | | | |
| | ③⑥ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ● | | | 通訳を通じて、児童発達管理責任者が行えるようにしている |
| | ③⑦ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | | ● | |
| 非常時等の対応 | ③⑧ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | | | ● | マニュアルを整備し、年二回以上の避難訓練などを実施している。 |
| | ③⑨ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ● | | | マニュアルを整備し、年二回以上の避難訓練などを実施している。 |
| | ④⑩ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ● | | | 市町村等が開催する外部研修に積極的に参加している。 |
| | ④⑪ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | | | ● | 身体拘束の実績がない |
| | ④⑫ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ● | | | 受け入れ時にアセスメントを行っている。 |
| | ④⑬ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ● | | | |